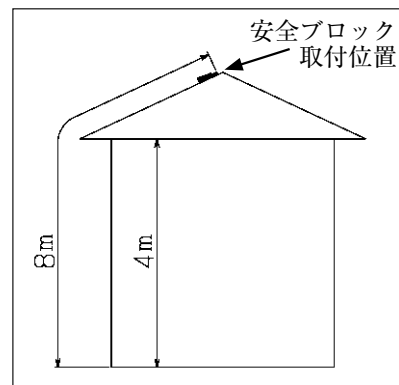


3. 5 親綱使用上の注意点

使用にあたっては、次の事項を順守すること。

安全ブロック設置に必要な高さ

- ・以下のいずれかの場所では使用しない。これらの条件では、墜落防止時に地面に衝突する危険性がある。
(安全ブロックのストラップ長さが5.7mの場合)
 - ① 軒先高さが4 m以下の建物。
 - ② 地上から安全ブロックの取付位置まで延べ長さが8 m以下の建物。
- ・上記の建物の場合、小型安全ブロック（安全ブロックのストラップの長さが3.5m）の使用や取付け位置の検討が必要となる。（詳細は取扱説明書等により確認すること。）



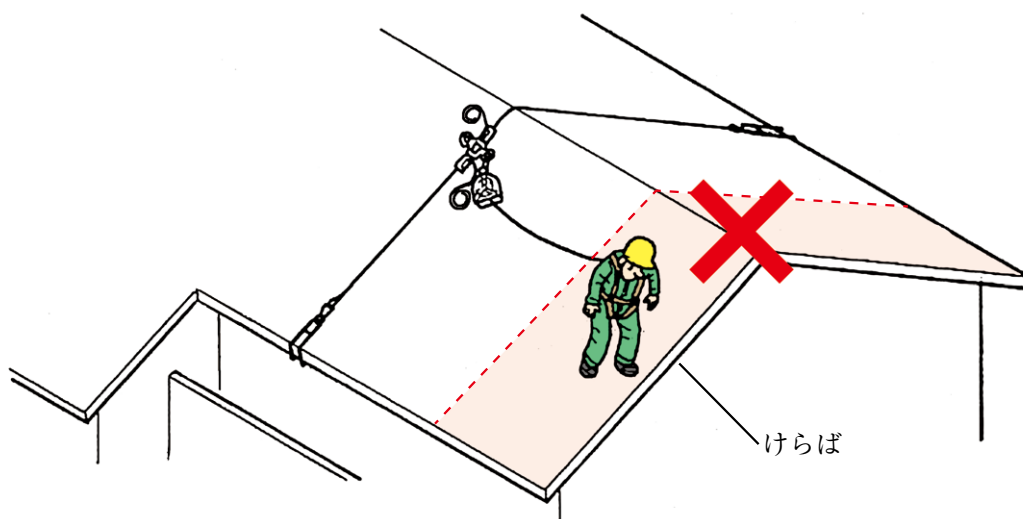
設置に必要な高さについて

親綱の本数

- ・1本の親綱で、2人以上同時に昇降・作業をしない。

作業範囲

- ・けらば側には近づかない。



- ・器材の配置は必ず正しい配置を行って、使用する。
- ・伸縮調節器が正常に作動しないものは使用しない。
- ・しっかりとした屋根に取り付ける。

3. 6 垂直親綱固定ロープの設置

この工法は、「地上からの主綱設置」または「移動はしごを使用した主綱設置」によって、あらかじめ設置された安全ブロックを利用して、屋根中央部分に制限されていた作業範囲を広範囲なものとするためのものである。この工法の利用により、けらば付近を含めた屋根全面での作業が可能となる。

本方式の採用にあたっては、設置及び作業上の注意事項を熟知した上で作業計画を立てることが必要である。

(1) 機材の構成及び仕様の例

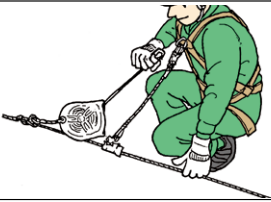

| 品名 | 仕様等 | 数量 |
|-----------|---------|----|
| ① 親綱固定ロープ | 合成繊維ロープ | 2本 |
| ② フック金具等 | フック金具 | 2個 |

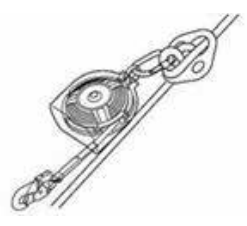
(機材概要)

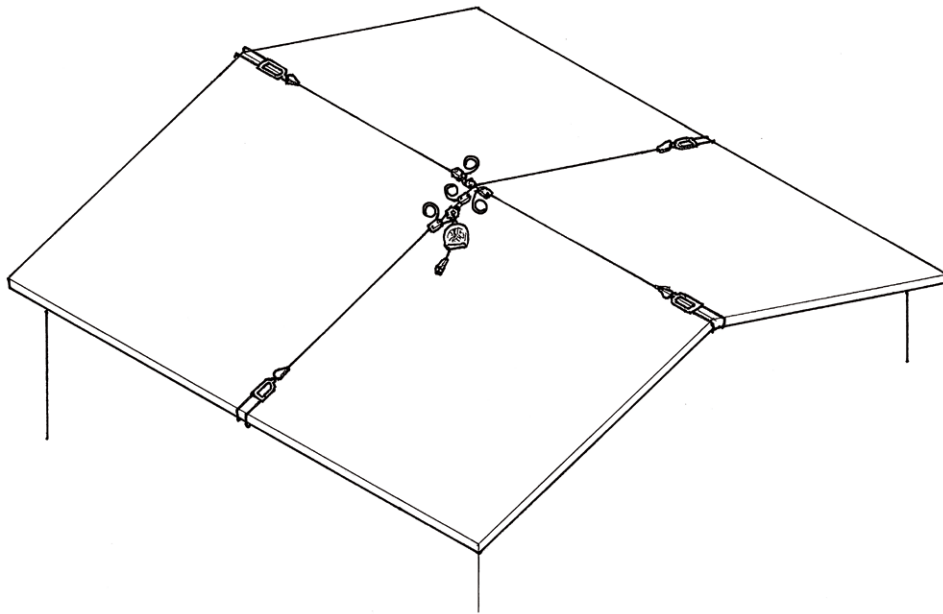
- ・屋根けらば付近に親綱固定ロープと連結させたフック金具を取り付ける。
- ・当該親綱を屋根棟の安全ブロックを固定しているカラビナと連結固定する。
- ・上記の作業を左右のけらば両方に対して施し、けらば方向への安全ブロックの移動を拘束する。

(2) 親綱の設置

注意：設置前には、各部に異常がないことを確認する。

| 設置手順 | 図解等 |
|--|---|
| ① 準備作業 「地上からの主綱設置」または「移動はしごを使用した主綱設置」により、屋根棟に安全ブロックを一ヶ所確保し、作業者の安全帯と連結した上で、作業を進めていく。 |  |
| ② けらば側（両サイド）のフック金具の取付け 親綱固定ロープとリングを連結し、フック金具の操作棒を伸ばし、操作棒を持ってフック金具をけらばに掛ける。 親綱固定ロープに緩みが無いよう伸縮調節器を用いて緊張する。 親綱固定ロープの余長分は束ねておく。 |  |

| 設置手順 | 図解等 |
|---|---|
| <p>【要点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フック金具の設置位置は棟の近くとする。 ・フック金具はけらばに対して直角になるように取り付ける。 ・両サイドのフック金具は、棟に対して親綱固定ロープが平行になるように取り付ける。 |  |



屋根全面での作業が可能な状態の例

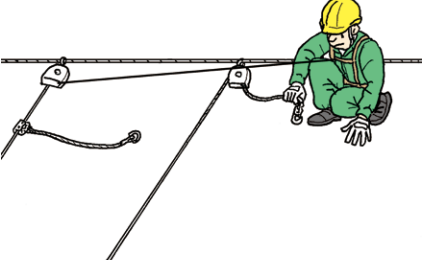
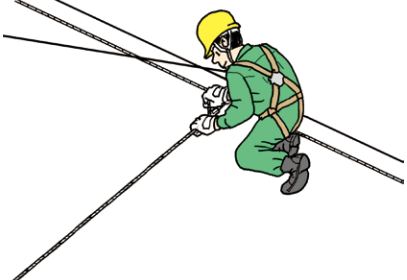

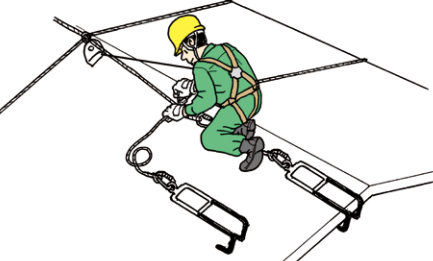
3. 7 解体

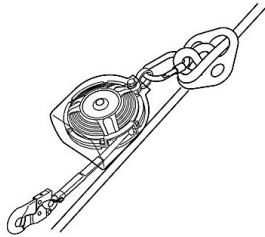
屋根上での作業終了後、使用した機材を解体して片づけるときの作業手順は、基本的には設置の際の手順を逆から行えばよい。したがって、追加した垂直親綱の取り外しと親綱固定ロープの取り外しのどちらを先に行うかは、設置の順序によって変わってくるが、いずれの場合でも主綱の取り外しが最後になる。

地上から親綱を設置した場合には、作業者がはしごを使用しており際は必ず垂直親綱にスライド（グリップ）を取り付けて安全带と連結させた状態でおりにするようにして、最後の作業者が降りた後に主綱を片づけることが重要である。

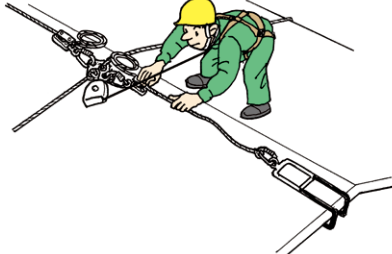
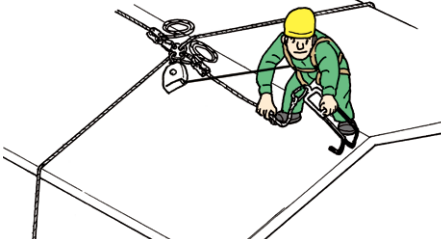

(1) 主綱のロープの解体（追加した垂直親綱を最初に取り外す場合の例）

ア 追加した垂直親綱の解体

| 解体手順 | 図解等 |
|---|--|
| <p>① 安全帯のフックの掛け替え 主綱に設置された安全ブロックのフックをD環に連結した後、作業時に使っていた、解体する垂直親綱に取付けた安全ブロックのフックをD環から外す。</p> |  |
| <p>② 伸縮調節器により垂直親綱を緩める リング類に連結した伸縮調節器を調整して、両側の垂直親綱を緩める。</p> |  |
| <p>③ 軒先のフック金具の取外し 順番に屋根両側の軒先まで行き、フック金具を軒先から取り外す。</p> |  |
| <p>④ 垂直親綱の取外し 垂直親綱をつないでいるリング類から垂直親綱を取り外す。</p> |  |


| | |
|---|---|
| <p>⑤ 垂直親綱に取付けた安全ブロックの取外し 垂直親綱をつないでいるリング類から安全ブロック、カラビナを取り外す。</p> |  |
|---|---|

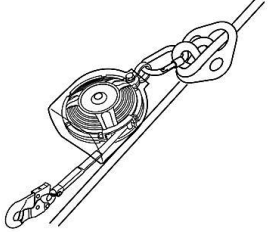

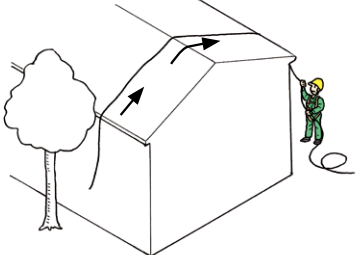
イ 親綱固定ロープの解体

| 解体手順 | 図解等 |
|--|---|
| <p>① 伸縮調節器により親綱固定ロープを緩める けらばに設置したフック金具と連結した親綱固定ロープを伸縮調節器を調整して緩める。</p> |  |
| <p>② けらばに取り付けたフック金具の取り外し 垂直親綱に設置された安全ブロックを利用して、屋根両側のけらばに取り付けたフック金具を外す。</p> |  |
| <p>③ 親綱固定ロープの取り外し 垂直親綱のリング類から親綱固定ロープ端部のカラビナを取り外す。</p> |  |

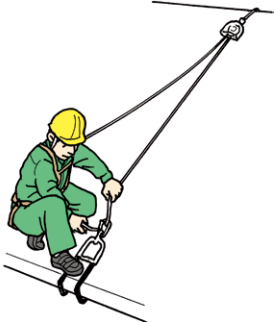
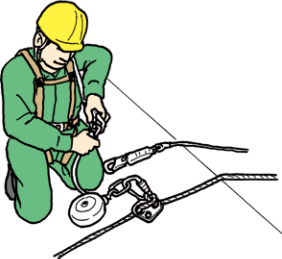
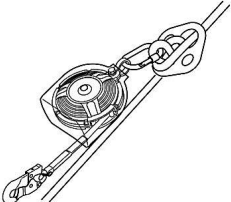
(2) 主綱の解体

ア 地上からの主綱設置の場合

| 解体手順 | 図解等 |
|---|---|
| <p>① 安全帯のフックの掛け替え 垂直親綱に取り付けたスライド（グリップ）のフックを安全帯のD環に連結する。その後、安全ブロックのフックをD環から外す。</p> |  |

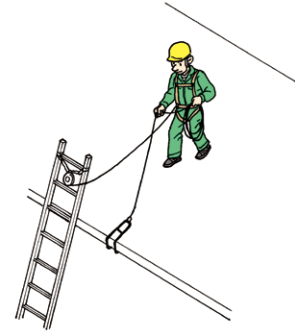
| | |
|--|---|
| <p>② 安全ブロックの取り外し 垂直親綱から安全ブロック、カラビナを取り外す。</p> |  |
| <p>③ はしごを使用して屋根からおりる 垂直親綱に取り付けたスライド（グリップ）を少しずつ引き下げながらはしごおりる。</p> |  |
| <p>④ 垂直親綱を屋根からおろす 作業者が屋根からおりた後に、垂直親綱の端部を構造物等から取り外し、垂直親綱を屋根から引きおろす。</p> |  |

イ 移動はしごを使用しての主綱設置の場合

| 解体手順 | 図解等 |
|---|---|
| <p>① はしごと反対側のフック金具の取り外し はしごと反対側の屋根軒先で、伸縮調節器によりフック金具に連結した垂直親綱を緩め、フック金具を軒先から外す。 ※移動はしごに設置された安全ブロックのフックを、屋根棟付近に設置した安全ブロックのカラビナにあらかじめ取り付けておく。</p> |  |
| <p>② 安全ブロックの掛け替え 屋根棟の手前まで移動し、はしごの上端に設置された安全ブロックのフックを安全帯のD環に連結した後、屋根棟に設置された安全ブロックのフックを外す。</p> |  |
| <p>③ 安全ブロックの取り外し 垂直親綱から安全ブロック、カラビナを取り外す。</p> |  |

④ はしごの場所まで移動

屋根棟を乗り越えて、軒先のはしご上端部まで屋根を下る。その際、はしごの上端の真上（1 m幅以内）の範囲から出ないように注意する。



⑤ はしご側のフック金具の取り外し

はしご側の軒先に取り付けたフック金具を外し、はしごを使用して屋根から下りる。

